

1 題材について

対 象 学 年	中学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	家庭分野B 家族と家庭生活の内容（1）
題 材 名	「わたしの成長と家族」（全3時間）
題 材 目 標	<p>自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて考えることができる。</p> <p style="text-align: center;">（生活や技術への関心・意欲・態度）</p> <p>自分の成長や生活は、家族や周りの人に支えられてきたことに気付くことができる。</p> <p style="text-align: center;">（生活や技術についての知識・理解）</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>題材指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返る中で、自分にかかわってくれた人（家族）の思いを位置付けながら、自分の成長をより深く見つめられるようにする。 ・具体的提示や体験学習（保育所訪問）を効果的に位置付け、幼児や幼児期の学習を通して自分自身の成長への興味を高められるようにする。 ・毎時間の流れを確立する。課題に対する気付きや意見をまとめられるように課題設定や学習プリントを工夫する。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物や実際の映像などを多く取り入れ、視覚に訴える導入にする。 ・多くの生徒の意見が吸い上げられるように、個人の意見をグループに広げ個人にもどるグループでの話し合いや、学級へ広げる全体交流を工夫する。 ・疑似体験的な学習を取り入れ、体感として理解できるように工夫する。
参 考 資 料	資料1 学習プリント

2 題材の評価規準

	ア 生活や技術への関心・意欲・態度	エ 生活や技術についての知識・理解
内容 のご ま と の ま 評 り 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて、関心をもって学習活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて気付いている。
題 材 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付いている。
単 位 時 間 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	<p>自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて関心をもち、進んで調べたり考えたりしている。</p>	<p>お腹の中から赤ちゃんは人として生まれる準備を始め、誕生から人として育つための能力を備えていることを知り、生命の尊さを感じるとともに、赤ちゃんの能力を引き出しているのは人（親）とのコミュニケーションであることに気付くことができる。</p> <p>「狼に育てられた子」の資料から、赤ちゃんが人として成長していくためには、「立って歩く」「言葉をかわす」「感情をあらわす」「分別ある行動」などの人とかかわる環境が大切であることに気付くことができる。</p> <p>自分や仲間の成長の様子を知ることを通して、自分の成長に対して親がしてくれたことの意味を自分なりに考え、自分の成長は、親や周りの人に支えられていたことに気付くことができる。</p>

3 指導と評価の計画 (全3時間)

	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	子どもが育つ環境としての家族の役割について考えることができる。	<p>生まれたての赤ちゃんはどんなことができるか予想をたてる。</p> <p>保育人形を使い、泣きやませるためには、揺らしてあげるとよいことを知る。</p> <p>なぜ泣きやむのか、赤ちゃんのもつ能力について考える。</p> <p>生まれたての赤ちゃんはどんな能力をもっているのだろう</p> <p>ビデオ「赤ちゃんこの素晴らし生命」を視聴する。</p> <p>ビデオから分かった赤ちゃんのもっている能力を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チンパンジーとは違う人間の赤ちゃんがもつ能力は何なのかまとめる。 ・まとめを発表する。 <p>感想を書く。</p>	<p><エー>知識</p> <p>お腹の中から赤ちゃんは人として生まれる準備を始め、誕生から人として育つための能力を備えていることを知り、生命の尊さを感じるとともに、赤ちゃんの能力を引き出しているのは人(親)とのコミュニケーションであることに気付くことができる。</p>	<p>発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの能力について具体的に発言したり、能力を引き出すのは、人とのコミュニケーションであることについて発言しているか。 <p>学習プリント記述内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの能力と人のかかわりについて書かれているか。 	<p>保育人形により、生まれたての赤ちゃんには、泣いたり息をするだけではない能力があるということに気付かせ、赤ちゃんのもつ能力に興味をもたせる。</p> <p>生まれながらにして人として生きようとしている赤ちゃんに、周りの人間はどのようにすることが大切か考えさせる。</p>
2	親をはじめとする家族には、子どもの保護、情緒の安定、社会化、基本的な生活習慣などの役割があることについて気付くことができる。	<p>赤ちゃんのもつ能力を振り返る。</p> <p>もし、人間が狼に育てられるとどうなるのだろう</p> <p>人間の赤ちゃんが狼に育てられるとどのように成長するか、予想をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩き方、食べ方、眠り方、行動、感情はどうなるのだろうか。 <p>「狼に育てられた子」の資料から、実際にはどうなるのか知り、感じたことをまとめる。</p> <p>「人間と言えるのか」全体交流する。</p> <p>サイレントベビーは、この狼に育てられた子に似ているが、どうしてこのような赤ちゃんになってしまったのか考え、発表する。</p> <p>感想を書く。</p>	<p><エー></p> <p>「狼に育てられた子」の資料から、赤ちゃんが人として成長していくためには、「立って歩く」「言葉をかわす」「感情をあらわす」「分別のある行動」など人とかかわる環境が大切であることに気付いている。</p>	<p>発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの成長と人のかかわりについて発言しているか。 <p>学習プリント記述内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの成長と人のかかわりの大切さについて書かれているか。 	<p>赤ちゃんは人として育つための能力があることを押さえる。</p> <p>(運動機能、社会性の両面)</p> <p>人間の赤ちゃんが狼に育てられるとどうなるのか考える際に視点を絞る。(歩き方、食べ方、眠り方、行動、感情)</p> <p>サイレントベビーの記事を読む。</p>

3	<p>自分や仲間の成長の様子を知ることを通して、自分の成長に対し親がしてくれたことの意味を自分なりに考え、自分の成長は親や周りの人に支えられてきたことに気付くことができる。</p>	<p>狼に育てられた子と今の自分を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが当たり前の人としてできることを発表する。 ・幼児期にどう育てられたかを探る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>親や周りの人が自分に対してくれたことには、どんな思いが込められていたのだろう</p> </div> <p>事前に調べてきたそれぞれの幼児期の様子を交流する。(各グループで項目について交流する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が家の子育てのポリシー ・子育ての中で一番嬉しかったこと(喜び) ・子育ての中で一番大変だったこと(苦労) ・幼児期の一番の思い出 <p>全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の意見を聞いて、さらに自分が人として成長できたのはなぜかを考える。 <p>親の思いの分かる手紙を読む。</p> <p>詩「命のバトン」を読む。</p> <p>感想を書く。</p>	<p><アー ></p> <p>自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて関心を持ち、進んで調べたり考えたりしている。</p> <p><エー 3 ></p> <p>自分や仲間の成長の様子を知ることを通して、自分の成長に対し親がしてくれたことの意味を自分なりに考え、自分の成長は、多くの人に支えられていたことに気付いている。</p>	<p>グループ交流、全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長や家族とのかかわりについて意見を述べているか。 <p>学習プリント記述内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長に対し親がしてくれたことについて気付き、自分の考えを書くことができるか。 	<p>事前に保護者に協力してもらってアンケートをとっておく。はじめの全体交流は、班交流の見本となるようにする。さまざまな親の思いができるように交流するよう指示する。</p> <p>親の手紙を紹介し、親の子どもに対する気持ちを知らせ、親のしていることの意味を時折立ち止まり、考えることの大切さを伝える。</p>
---	--	---	--	---	--

4 単位時間の授業の展開例

(1) 本時のねらい

自分や仲間の成長の様子を知ることを通して、自分の成長に対し親がしてくれたことの意味を自分なりに考え、自分の成長は多くの人に支えられてきたことに気付くことができる。

(2) 本時の位置 3 / 3

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
<p>課題をつかむ</p> <p>課題を解決する</p> <p>伸びを確かめる</p>	<p>「狼に育てられた子」と今の自分を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなが当たり前に行えることを発表する。 狼に育てられた子との幼児期の違いに目を向ける。 自分はどうかだったか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>親や周りの人が自分にしてきてくれたことには、どんな思いが込められていたのだろう</p> </div> <p>全体で意見を出し合う。</p> <p>グループで意見を出し合う。</p> <p>全体交流の仕方を参考にし、班長司会で、事前に調べてきたそれぞれの幼児期の様子を交流する。(各グループでそれぞれの項目について交流する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が家の子育てのポリシー 子育ての中で一番嬉しかったこと(喜び) 子育ての中で一番大変だったこと(苦労) 幼児期の一番の思い出 <p>親のしてくれたことは、自分に対してどのような意味が込められていたのかを考え、まとめる。</p> <p>まとめを全体交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間の意見を聞いて、さらに自分が人として成長できたのはなぜかを考える。 <p>親の思いの分かる手紙を読む。</p> <p>詩「命のバトン」を読む。</p> <p>感想を書く。</p>	<p><アー > 評価規準 自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかわりについて関心をもち、進んで調べたり考えたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価方法 グループ交流・全体交流での姿や学習プリントの記述 (自分の成長や家族とのかわりについて意見を述べたり、記述したりしているか。) <p><エー > 評価規準 自分や仲間の様子を知ることを通して、自分の成長に対し親がしてくれたことの意味を自分なりに考え、自分の成長は多くの人に支えられていることに気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価方法 班交流の発言内容 親がしてくれたことに対して書いた感想 (「～のとき、親が～してくれたのは、自分が～するためだったのだな。自分は一人で成長したのではなく、親や周りの人に支えられてきたのだな。」などと発言したり、書いたりしているか。) 	<p>全体交流は、班の交流の見本となるようにする。</p> <p>Bを実現するための手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> 到達していない生徒に対し、親のしてくれていることの意味を捉えている生徒の意見が聞ける全体交流の場を作る。 捉えられない生徒にどの意見を聞かせるべきか机間指導からつかみ、意図的な指名を行う。 <p>Aへ高めるための手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体交流の場で「十分満足できる」状況に達している生徒を意図的に指名し、考えを引き出すようにする。 <p>ある親の手紙を用意し、親の気持ちを知らせ、親のしていることの意味を時折立ち止まり、考えることの大切さを伝える。</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 重点的に取り上げた評価規準

<エー>

自分や仲間の成長の様子を知ることを通して、自分の成長に対して親がしてくれたことの意味を自分なりに考え、自分の成長は、親や周りの人に支えられていることに気付くことができる。

(2) 評価の実際

【評価の方法】

視点 親や周りの人が自分にしてきたことの意味を考えることができる。

視点 自分の成長は親や周りの人に支えられていることに気付くことができる。

視点 を捉えた記述があったり、または発表することができたとき、「おおむね満足できる」状況と判断する。さらに、

視点 自分の生き方につなげたり、自分の今までの親や周りの人に対する行動や態度に対して振り返り、自分を見つめることができたとき、「十分満足できる」状況と判断する。

小さな頃から親が川や海、公園へ連れて行って一緒に遊んでくれたので、いろいろなことを体験させて、いろいろな意味で豊かな子になって欲しいと思っていたのではないかと思う。父も仕事から帰ってきた後でも、お風呂に入れたりオムツを交換したりしていたらしいので、昼間は会えないながらもコミュニケーションをとろうとしていたんだと思う。(意味)しかられた嫌だなと思ったこともあったけど、楽しかったことも含め、自分のためを思っていること(支え)だから、自分の子にも同じように子どもを思って接してあげたい。「おおむね満足できる」状況

今までは親のしてくれたことに対して意味があると考えたこともなく、腹がたつことや不満をもつことはあっても、感謝したことはあまりなかったけど、子どもについて考えると親のしてくれたことは一つ一つが自分のためを思ってやってくれていたのだと思える。(自分の態度の振り返り)自分も子どものことを考えて、子どものためにいろいろやってあげられて親になりたいと思った。「十分満足できる」状況

【判断した生徒の状況例】

・「おおむね満足できる」状況と判断した例

Aさんは、班の交流から親の子への思いをくみ取った。(発言より)さらに事前調査から具体的に自分が親にしてもらったことを取り上げ、そこに込められて親の思いを考えることができたことから、「おおむね満足できる」状況と判断した。

自転車に乗るとき、後ろのところを持って一緒に走ってくれた。多分、自分が小学生や中学生になったときに恥をかかないように一緒に練習してくれたんだと思う。親が怒ったり、褒めたりするのは、自分のためにしてくれたんだなあと思った。自分が言葉を話せるのも、歩けるのも親が自分を大切に見守ってくれたからだと思った。今日の授業を通して、僕は自分で生きてきたと思っていたけど、親がいてくれたおかげだなあということを改めて思った。

・「十分満足できる」状況と判断した例

Bさんは具体的に親がしてくれたことに対しての意味を考え、今の親へ自分の態度を振り返りながら『できるだけ親の思いを素直に受け止めていけるようにしたい。』と書いていた。さらに、教師の親からの手紙を聞き、深い親の思いを感じて、『今は反抗ばかりしているけど、もう少し大人になったら、「ありがとう」と、自分の生き方につながる考えをもつことができていることから「十分満足できる」状況と判断した。

親が将来、私がけじめがあって恥をかかないような人間になるように叱ったり教えてくれたりしているんだから、たまには反抗することはあるかもしれないけど、できるだけ素直に受け止めて「理想」に近づけるようにしたい。そして、自分が親になっとときもそうしていきたい。今日の授業で、親がどんな思いで叱ったり教えてくれているかがよく分かりました。(中略)私は親に反抗ばかりしているけど、もう少し大人になったら、「ありがとう。」と言いたいです。

(3) 個に応じた指導の実際

－「努力を要する」状況から「おおむね満足できる」状況へ高めるための指導の実際－

Cさんは、思いはあってもその思いが漠然としており、具体的に気付くまでに達することが難しいと予想される生徒である。班の交流が終わった後に感想をまとめる時点で机間指導をしながら個別指導を行った。何を考えたらよいのか困っている様子だったので、「具体的に何かしてもらったとか、何かされたされたとか思い出せることはないかな。」とはじめに問いかけ、書けた時点で「どうしてそうしてくれたんだと思うかな。」と聞いてみたところ、『家出したら戻ってきたときにすごい怒られた。多分心配していたかも。』と答えた。その気持ちを書くように指示した。『小さい頃家出してもどってきた時に怒られた。きっと心配してたから怒ったんだと思った。』と親の気持ちを考えることができた。

家出して、戻ってきたとき怒られた。きっと心配していたから怒ったんだと思った。

しかし、実感として捉えは弱く、さらに考えを深めさせるために全体交流の場で「おおむね満足できる」状況にある生徒の意見を意図的に指名し、発言させた。親がしてくれたことは、将来の自分のためだという多くの意見から、Cさんの意見は、自分も次の世代の親になるということ考えたものへと高まった。

自分は、これから子どもができれば、ちゃんとしつけをして、いいことはいい、悪いことは悪いとちゃんと区別がつけられるようにしたい。

ここではまだ「親の思い」への捉えが弱いため、実際の教師の親からの手紙を聞かせたところ、授業を終えてのCさんの感想は、親の気持ちを考え、自分の成長とのかかわりを見つめたものへと高まった。

今日の授業をやって、ちゃんと親がおれを叱ってくれる気持ちが少し分かったし、ちゃんと心配してくれているんだなと思った。「おおむね満足できる」状況

－「おおむね満足できる」状況から「十分満足できる」状況へ高めるための指導の実際－

机間指導から「おおむね満足できる」状況のDさんの意見を確認し、「これからどうしていきたいと思うかな。」と問いかけ「十分満足できる」状況へ高めた。全体交流の場でDさんを意図的に指名し、発言させた。

Eさんの全体交流前の意見は、視点 を捉えたものではあったが、自分についての振り返りはなかった。

少しずつ一人でいろいろできるようにさせた。できるだけ自分でいろいろできるようになって欲しいという親の思いがある。サイクリングや登山などに参加させていた。活動的な子になって欲しいという思い。多くの経験をつんで欲しいという親の願いがあり、育てられた。

しかし、全体交流の場で、「自分は今まで多くの人に支えられてきたけど、これからは自分が支えていけるように、考えていきたい」という仲間の意見を聞き、交流後の意見は自分の生き方を見つめるものへと高まっていた。

人として成長するまでには多くのことがあり、経験があり、また親の思いがあってなされるものだと思った。そして、そういうことがあって今の自分が今のように存在していると思った。人は何かのために努力するけれど、どの努力はどんなことがあってもむくわれないことはないと思う。流されるような生き方もあるし、しっかり自分の意見をもった生き方もある。自分はしっかりと意見をもって生きていけるようになりたいと思った。「十分満足できる」状況

最後に、全体の生徒へ、親の深い思いを知らせるために（「努力を要する」）状況または、「おおむね満足できる状況にある生徒を「十分満足できる」状況へ高めるため）教師の親からの手紙を聞かせたところ、Fさんの意見は、自分の今までの行動や態度に対して振り返り、視点 自分を見つめるものへと高まった。

自分は親にしてもらったことがいっぱいあって、今もどれだけ自分のことをやってくれているかが分からずに、毎日毎日言い返してきたけど、先生のお母さんからの手紙を聞いて、どれだけ自分のことを思いやっていてくれるのかが分かった。わたしも大人になり、自分の子どもができれば、同じように自分の気持ちを伝えていきたいと思いました。「十分満足できる」状況

6 資料

学習プリント 第1ユニット わたしの成長と家族

3年 組 番
名前

狼に育てられたアマラとカマラに対し、自分たちはどのように成長しただろうか。

課題

グループ交流から、課題に対しての考えをまとめよう。

まとめ（仲間の意見を聞いてさらに思うことをまとめよう。）

親からの手紙を聞いてみて、感想をまとめよう。

感想
